

EMS・実装メーカーの部品保管ソリューション

長期間保有しなければならない 購入部品・EoL部品の はんだ性維持

信頼性の高い実装基板を長期間提供するにはPWB、IC他電子部品のはんだ性維持が必要です。

❗ EMS・実装メーカーでの部品保管の問題点

購入した
部品・基板が
期限内に
使用しきれず廃棄

生産中止部品
(EoL/Last Buy) の
はんだ性が
劣化する

ドライキャビネットの
中の収拾がつかない。
設置する
場所が無い。

RPシステム®

Revolutionary Preservation System

無酸素・無水分包装が**解決**します。

こんな

ジレンマにお悩み

ではありませんか？

生産量の
9割廃棄
しています

生産機の
老朽化更新
できません

この実装基板は
20年供給して
ください！

原料
生産中止！

部品メーカー

エンドユーザー
(自動車・産業機械メーカーなど)

部品ベンダーからの 生産中止圧力

原料生産中止・
製造機の老朽化による生産継続不可能
生産量の大部分を期限切れ廃棄する
ことによる、莫大なコスト負担

購入した部品の信頼性維持が困難 ＝実装基板の信頼性低下

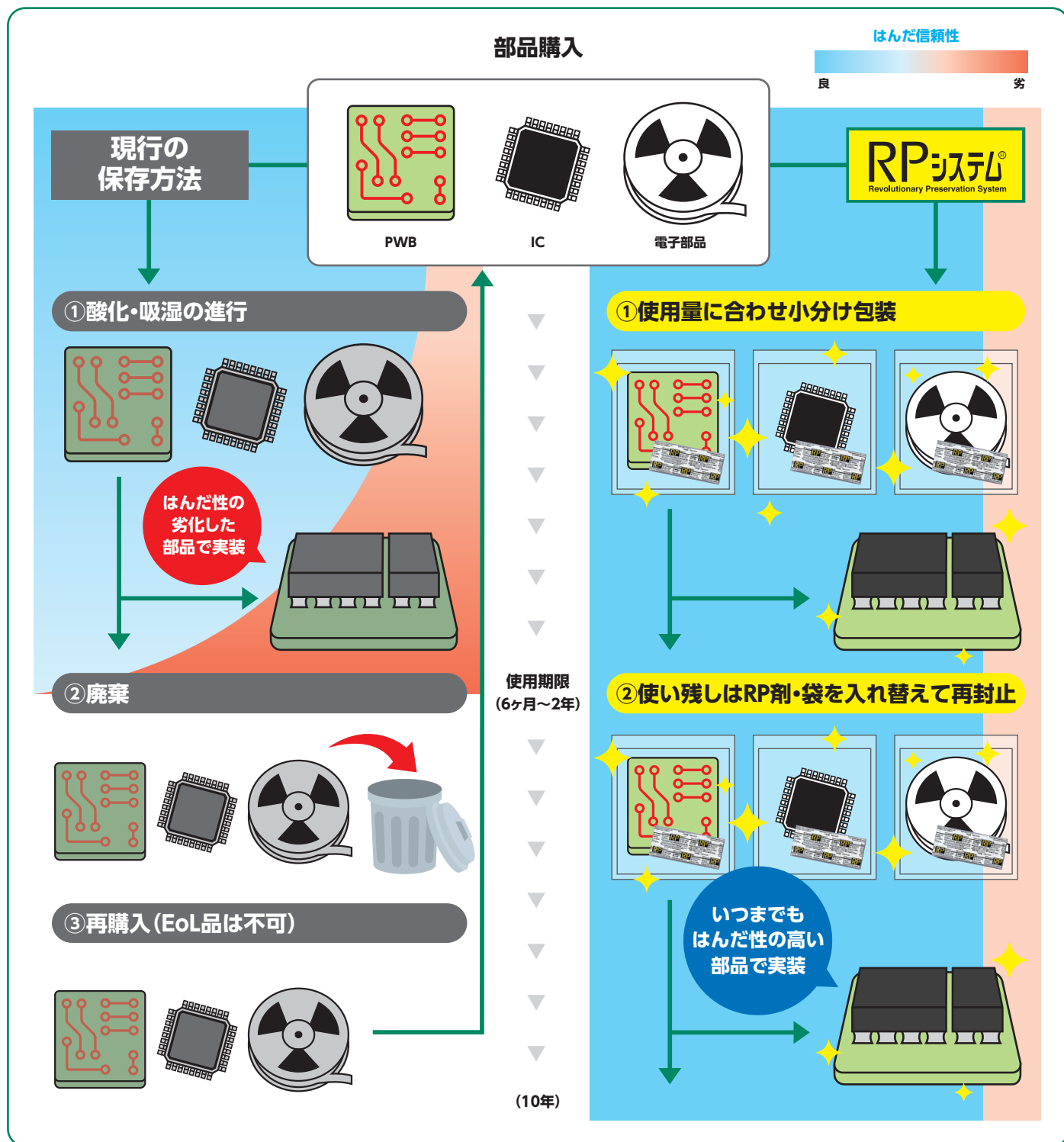
酸化による電極のはんだ性劣化
吸湿によるポップコーン・デラミネーション・ブローホール
使用期限切れによる部品・基板の廃棄
ドライキャビネット
・内部の収集がつかない・設置場所が無い

供給義務は長期間なのに仕様変更はできない

自動車・産業機械・医療機器・インフラ

Solution 問題点をRPシステム®で一挙に解決

RPシステム®とは脱酸素乾燥剤「RP剤」とハイガスバリア袋を組み合わせた保管方法で、乾燥窒素雰囲気をつくることで部品のはんだ性劣化を防止し、購入直後の品質のまま長期保管が可能です。これにより劣化・使用期限超過による廃棄がなくなり、デバイスの吸湿・電極の酸化による実装トラブルの削減が出来ます。



無酸素・無水分包装RPシステム®は 電子部品の使用期限という制限を無くします。

※RPシステム®で維持できるのは電極の酸化・デバイスの吸湿によるはんだ性・ボンディング性等実装信頼性の低下防止です。

電解コンデンサの容量ヌケは上記に当てはまりませんので、RPシステム®では防止できません。

またある種の、自身も持つ水分量が特性に影響を与えるデバイスでは、保持水分量低下によりその特性値が変化する場合があります。吸湿量の回復により、特性値が回復する場合もあります。

Q 弊社購入部品の保存後の保証をしてもらえるのですか？

A RPシステム®は金属や部品類が酸化しない空間を提供するだけで、それにより貴社購入部品の劣化が防げるかを確認いただくのは貴社となります。
具体的には①「RP剤とバリア袋(弊社製の場合)の性能が規定通りである事」、②「RP剤を容量通り正しい手順で使用し正しく密封した事」、③「保存しようとする製品に初期不良や予期しないコンタミネーションが無い事」により長期間保存が可能になりますが、弊社が担保できるのは①だけです。

Q どれくらいの期間を保存することが出来るのですか？

A RP剤と弊社アルミ袋(AB-PLタイプ)を使用し常温(倉庫)保存した場合、10年です。

Q 20年保存したい場合、10年でRP剤とアルミ袋を入れ替えるということですか？

A ご理解のとおりです。

Q 加速試験を行いたいのですが、加速係数を教えてください。

A ①「錆・酸化に再現性がない事」、②「活性化エネルギーが決められない事」から、根拠をもった加速係数を決めることはできません。
各社各様の加速係数を決めておられるのが実情です。

Q 加速試験の際の温度条件を教えてください。

A 袋にポリエチレンを使用していることから100℃以上のテストはできません。
高くても80℃、一般的には60℃以下でのテストを行ってください。

Q 採用にむけた評価試験に際し、どのようなデータがとれますか？

A 保存(加速試験)前後の袋内酸素濃度、および袋内湿度経時変化等をご提供可能です。
データ取得等、実施試験内容に関しては、事前に販売店を通じてご相談下さい。

Q 環境データの提供は可能ですか？

A REACH SVHC不使用証明、RoHS10物質の不使用証明および精密分析データ、chemSHERPAにてご提供いたします。
ただし、RoHS10物質の精密分析データの年次更新は行っておりません。

Q 公的な規格はありますか？

A 米国政府電子情報工業会の“電子デバイスの長期保存方法”(ANSI/GEIA-STD-0003)に認定されています。これは、米軍とBoeingをはじめとする航空宇宙軍事産業関連メーカーが主幹事で制定された規格です。

※本リーフレットに記載されている事項は、貴社製品に適用した場合等あるいは、貴社の意図する効果を保証するものではありません。

三菱ガス化学株式会社

特殊機能材カンパニー 脱酸素剤事業部

東京 〒100-8324 東京都千代田区丸の内 2-5-2 三菱ビル 6F
TEL:03-3283-5167 FAX:03-3287-1785

大阪 〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町 19-19 アブロースタワー 23F
TEL:06-6372-1200 FAX:06-6376-1220

販売店

RPシステム

検索